



2月の生活目標 感謝の気持ちを伝えよう



2学期末に行った今年度の学校評価アンケートと平成28年度の学校評価（学校だより2月臨時号参照）を比べると、他の項目の評価が高くなる中、「あいさつ」についての評価は変わらない結果でした。あいさつに関する指導の難しさはありますが、あいさつは、感謝の気持ちを伝える第一歩です。今後もあいさつの指導を通して、感謝の気持ちを伝える大切さを考えさせるよう取り組んでいきます。

【1月の大芦っ子】

1月は新型コロナウイルスとインフルエンザの感染拡大の状況にあって、通常の教育活動になかなか戻れない中でも、元気に活動する大芦っ子の姿がたくさん見られました。

「あいさつ運動」では、5年生と計画委員会の児童が登校する友達と元気にあいさつを交わすことで、あいさつ励行に取り組みました。また、「なかよしタイム」では、寒さの中、学年をこえて楽しく活動する姿に心温まるものがありました。今後も新型コロナウイルスやインフルエンザ感染防止に注意を払いながら、充実した教育活動を行っていきます。



あいさつ運動



あいさつ運動



なかよしタイム



なかよしタイム



音楽朝会



音楽朝会



避難訓練



なかよしタイム

【令和4・5年度鴻巣市教育委員会・鴻巣市教育研究会委嘱 中間授業研究会】

本校は、令和4・5年度に鴻巣市教育委員会並びに鴻巣市教育研究会から委嘱を受け、「自分の思いや考えを自信をもって伝えられる大芦っ子の育成～自分らしいアウトプットを目指して～」をテーマに研究に取り組んでいます。この度、国語科を中心に取り組んでいるこの研究の中間発表を1月27日に行いました。

当日は、3年1組安野教諭と6年1組生田目教諭が研究授業を行い、鴻巣市教育委員会の先生方にご指導をいただきました。自分の思いや考えを自信をもって相手に伝えることができる児童の育成には、児童が伝えることに対する意欲を高め、伝えるための技術を身に付け、伝える考えをもつことが必要であると考え、学習の導入を工夫したり、友達と考えを交流させる場を設定したりしました。ご家庭でも、子どもが考えや思いを伝えることができる環境を意識して子どもに接していただけると幸いです。

